

## 1 単元設定の理由

### (1) 単元について

本単元は、自らが感じ取った四万十川のよさや美しさを自分たちなりの方法で多くの人に発信することで、地域を盛り上げていこうとする活動である。

校区を流れる四万十川は、上流に大規模なダムや護岸された河原もなく、昔ながらの原風景が残り「日本最後の清流」として全国的にも有名な河川である。多くの観光客も訪れ、名物の沈下橋を含めた景観、屋形船やカヌーなどの体験、天然ウナギ、アユや川エビといった食でも訪れた人々を満足させている。また、校区(具同地区)は、四万十川から生活水を得ているなど、生活の面でも多くの恩恵を受けている。本校児童にとっても「春の遠足」や「秋のふれあいランチ」「マラソン大会」など、四季を通して大切な活動の場、集い楽しみの場になっている。1学期には「水辺の楽校」で四万十川につながる河川、中筋川の支流である森澤川で生き物探し、水質についての学習を行った。夏休みに入ると自ら川へ出向き、川遊びや、生き物探しをするなど身近な自然で楽しむことができた。そのような体験をしたことが、身近な存在である四万十川への興味関心を高め、「四万十川を大切にしたい」「四万十川のよさや美しさを多くの人に伝えたい」という思いの原動力につながっていることだろう。またそのような思いを持てたことが四万十川のよさや美しさを自分たちなりの方法で発信する際、児童が主体的に取り組むことにもつながるのではないかと考える。

友だちや地域の人、専門的な知識を持つ人と協同的な思いを持って学習を進め、自分たちの作り上げたものを使って「地域を盛り上げよう。」という思いを持つことで、今後は身近な地域の自然、文化、行事などにも興味を持って生活を送ることができるのではないかと考える。

### (2) 育てようとする資質・能力及び態度について

本単元を通して大切にしたいことは、「学習方法に関すること」の「②情報を収集する力」「④まとめ・表現する力」である。

情報収集する力については、ただ単にインターネットや図書で調べるだけではなく、アンケート調査やインタビュー活動など人と関わりながら情報を集めていく過程を大切にしたい。人との関わりを持ちながら、自分たちに必要な情報を収集していく能力が、今後、社会で生きていくために必要な資質・能力のひとつであると考えます。

まとめ・表現する力については、同じグループやクラス全体の中で思ったことや、考えたことについて自分の言葉で説明したり、語り合ったりする場面を多く取り入れることで、一人ひとりの言語活動の場を保障し、社会に出てからも必要なコミュニケーション能力の育成に努めたい。

### (3) 児童について

本学級の児童は、明るくまじめで、授業中の班活動やペア学習なども積極的に行うことができる。また、友達の意見を肯定的に聞き入れる姿勢も育ってきている。しかしながら、クラス全体の中で自分の考えや意見を語るができる児童は限られており、自分に自信が持てない児童が多いことも確かである。

第3学年の総合的な学習の時間では、校区内にある「トンボ公園」を中心に、そこに住む生き物や、生き物と自然とのつながりについて、現地調査やインタビュー活動を通して学び、自分たちの学んだ

ことをパンフレットにして多くの人に伝えてきた。情報を収集する際、何度もインタビュー活動等を行ったことで、話の聞き方、メモの取り方や質問の仕方など、人との関わり方について十分に学ぶことができています。

児童は1学期に「水辺の楽校」で生き物探しや、生き物と水質に関わる学習をしたことをきっかけに、身近な自然である四万十川に魅力を感じ、興味関心を持って学習に臨むことができています。だが、実際には四万十川で水遊びなどをした経験はあるものの、カヌー体験や屋形船での川下り体験、四万十川でとれた魚料理を食べることなどの経験をしたことのある児童は少ない。また「なぜ四万十川が全国的に有名なのか」という質問について語ることでできた児童も少なかった。これらのことから、興味や関心はありながらも、詳しいことについての知識は乏しいということも分かってきた。しかし、四万十川が全国的に有名なのは「なぜ?」「どうして?」という子どもたちから生まれた疑問があるからこそ、目的意識を持って体験活動「屋形船体験」を行うことができ、今まで身近にありながらも感じることでできなかった美しい景観や、その魅力について実感を持つことができた。グループに分かれて調べ学習をする時にも、休み時間に集まって話し合いをすることや、休みの日に集まって調査を行うなど主体的な活動ができています。

#### (4) 指導について

四万十川での経験が少ないという点からも、「水辺の楽校」に参加し、四万十川に生息する生き物探しや水質について調査したり、「屋形船体験」を行い四万十川を実際に肌で感じたりすることで、自らが四万十川のよさ、美しさを感じ取る。そうすることで一人ひとりが興味を持って学習に取り組むことができると考える。そして、体験で得た情報を一度整理し、より詳しく調べることや、調べる方法、まとめ方についての話し合いを行う。調べる方法については、インターネットや図書の他に、現地調査や詳しいことを知る専門家へのインタビューなどが考えられる。インタビューや現地調査の日程を交渉する電話をする際、「自分たちのしていることをどのように伝えるのか?」「どのような言葉でお願いすればいいのか?」ということも踏まえ、短く、わかりやすく相手に失礼のない電話をするための方法についてもグループごとに考えさせるようにする。また、グループごとにインタビュー等をしに校外に出る場合については、放課後の時間などを活用する。まとめる方法についても形式等指定するのではなく、それぞれのグループで自分たちの調べたことがスムーズにまとめる方法を考えさせるようにしたい。

次に、グループの調べ学習と並行して調査をしていた「四万十川には1年間にどれくらいの人がかかるか?」「四万十川を観光した人の評価」をもとに、自分たちがまとめたものをどのように活用していくかについて話し合う。ここでは、自分たちの調べた四万十川のよさや美しさについて一人でも多くの人に知ってもらいたいという思いを語りながら、情報を発信する方法について考え、その手段の一つとして「観光ガイドブック」等へと考えを広げていきたい。そしてそれは、だれを対象として作るのか、それぞれのグループでまとめた内容をどのように一つのものに編集していくのかを合わせて考えるとともに、実際に四万十市の情報誌「はたもーら」の編集に携わっている人から、記事づくりのコツやポイントを教わることで考えを深めたのち、記事の編集に励んでいく。そして、完成した記事は、記事作りの極意を教わった編集のプロにもう一度見てもらい、そのアドバイスをもとに、最後は全員で推敲することで仕上げを行っていく。

最後に、自分たちで作った「観光ガイドブック」等を駅や市役所の観光課、宿泊施設等といった、子どもたちが情報発信したい対象者や場所に応じて展示をお願いし、それを見た観光客や施設の人の意見や評価をもとに学習の振り返りを行っていく。その中で自分たちのしたことが、少しでも観光の役に立ったということや、四万十川のPRにつながったということを実感できれば、それは頑張

った自分たちへの「自信」、最後まで頑張った「達成感」につながるだろう。また、自分たちが企画したことが認められたとなると、今後は、四万十川以外の地域のことにも目を向け、「地域を大切にしよう」、「地域を盛り上げていきたい」という思いが生まれることだろう。そこで、「これから地域にどのようにかかわるか」、「何ができるのか」自分自身に振り返って考えさせたい。

## 2 単元の目標

- 「みんなの宝 四万十川」のよさや美しさについて、体験学習や調べ学習を通して自らが感じ取り、そのことを観光客等へ伝えるための手段を見出し、具体物等を製作する過程を通してそれぞれの思いを表現することができる。 (学習方法)
- 体験活動や調べ学習、地域や家族の人とのかかわりから、四万十川のよさや美しさを感じ取り、四万十川に対する思いを高め、主体的によりよいものをつくろうとアイデアを出すことができる。 (自分自身)
- クラスやグループの仲間と語り合うことや、地域や専門家の方へのインタビュー活動を通して、たくさんの方の知恵をかりながら作り上げたものを、多くの人に発信していく。 (他者や社会とのかかわり)

## 3 単元の評価規準

視点	育てたい力	目指す子どもの姿
学習方法に関する事	① 課題を設定する力	ア 四万十川を訪れた人から集めた情報、自分たちが体験活動や調べ学習で集めた情報をもとに「みんなの宝 四万十川」の課題を設定している。
	② 情報を収集する力	ア 四万十川の学習を進める上で自分が興味を持ったことについて、自分に合った方法で、進んで情報を収集している。 イ 四万十川のよさや美しさを発信する際、必要な情報を自分に合った方法で収集している。
	③ 整理・分析する力	ア 収集した四万十川の情報を、必要なものとそうでないものに選別し、さらに調べたい情報についても考えることができる。
	④ まとめ・表現する力	ア 四万十川についてそれぞれのグループで目玉となるものを考え、模造紙等にまとめることができる。 イ 一人ひとりが調べたことについて思いを持ち、はきはきと伝えることができる。 ウ 自分たちのまとめた情報を発信する方法について考え、思いを持って話し合うことができる。
自分自身に関する事	⑤ 目標を決め自ら意思決定する力	ア 学習を進める中で四万十川のよさや美しさを感じ取り、四万十川に対する思いを高め、地域を盛り上げようとアイデアを出すことができる。
	⑥ 自分の生き方を考える力	ア 四万十川のよさや美しさをより多くの人に発信する活動を通して自分の活動を振り返り、自分の願いや思いは何かをすることによって伝わることを実感し、これからの生活に生かそうとしている。

他者や社会との関わりに関すること	⑦ 他者と関わる力	<p>ア 友だちと協力しながら調べ学習を進め、収集した情報を友だちと話し合いながらまとめることができる。</p> <p>イ 専門家にアドバイスをもらうことや、出来上がったものを配布していただくための交渉を進んで行うことができる。</p> <p>ウ 質問することや、交渉する内容についても事前に整理し分かりやすく話すことができる。</p>
	⑧ 社会と関わる力	<p>ア 学習を進める上で感じた、四万十川のよさや美しさを自分たちなりの方法でまとめ、それを自分たちの住む地域を盛り上げたいという思いを持って配布することができる。</p>

#### 4 単元計画（全50時間）

学 習 活 動	指導や支援のポイント	評価規準
四万十川について知ろう(12時間)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○高知県の観光地を想起することから、四万十川について考える。</li> <li>○四万十川について知っていることを考える</li> <li>○「水辺の楽校」に参加し、生き物探しを行うことを通し、身近にある自然を味わう。</li> <li>○生き物と水質について考える。</li> <li>○屋形船に乗り、四万十川のよさ、美しさを感じ取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの住む町に流れる四万十川は、高知県の観光地のひとつであるということに気付かせる。</li> <li>・四万十川での思い出や、知っていることなど自分たちの経験から意見を引き出す。</li> <li>・学んだこと、感じたことを発表させたい。</li> <li>・屋形船体験で四万十川を実際に肌で感じることにより、これからの学習を主体的に進める素地を作る。</li> </ul>	<p>④ーイ</p> <p>②ーア</p>
四万十川のよさを集めよう。(12時間)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分たちの知識を整理し、四万十川についての情報収集の必要観をもつ。</li> <li>○屋形船体験で感じ取ったことや聞いたことを整理する中で生まれた、もっと詳しく調べてみたいことについて話し合う。</li> <li>○グループに分かれて調べ学習を行う。</li> <li>○それぞれのグループで調べた情報を共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十川は身近な存在であるが、自分たちの知っていることは限られていることに気付かせ、情報収集への意欲を高める。</li> <li>・主体的に学習を進めるために、自分の興味・関心を持ったことについて調べさせたい。</li> <li>・調べ学習を行う際には、学校図書館の活用のほかに、必要に応じて地域の方や専門家へのインタビューができるよう、事前に交渉を行う。</li> <li>・グループのまとめた情報から、四万十川のよさや美しさをもう一度おさえ、これまでの活動を価値づける。</li> </ul>	<p>⑦ーア</p> <p>⑦ーウ</p> <p>④ーア</p> <p>④ーイ</p>
「観光ガイドブック」をつくろう。(15時間)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○調べた情報をどのように生かしていくのか話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的を明確にし、これからの活動の必要性を持たせるようにする。</li> </ul>	<p>①ーア</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>○四万十川をもっと知ってもらうためにどうすればいいか話し合う。【本時】</li> <li>○販売されている、旅行ガイドやパンフレットを見て内容構成のだいたいを知る。</li> <li>○四万十川の目玉となるものについて話し合い、おおまかな構成を考える。</li> <li>○原稿作りを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を明確にすることで、説得力のある内容を考えることができるようにする。</li> <li>・使命感を持たせることで、学習意欲を高め、言語活動の活性化につなげる。</li> <li>・調べ学習の際、自分たちで持ち寄ったパンフレット等を活用する。</li> <li>・全体の目指すものが一貫した原稿作りができるように、適宜単元名を意識したり、めあてに立ち返られるようにしたい。</li> </ul>	<p>④ーウ</p> <p>③ーア</p> <p>⑤ーア</p>
<p>「観光ガイドブック」で地域を盛り上げよう。(13時間)</p>		<p>②ーイ</p> <p>⑦ーイ</p> <p>⑧ーア</p> <p>⑥ーア</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○出来上がった「観光ガイドブック」を担当の方に見てもらい、感想やアドバイスをもらう。</li> <li>○感想やアドバイスをもとに、うまく書けていたことや、うまく書けていなかったことを整理し、改善策を考える。</li> <li>○改善策をもとに、「観光ガイドブック」の仕上げを行う。</li> <li>○駅や市役所、道の駅などに配布をお願いする。</li> <li>○自分たちの「観光ガイドブック」づくりを振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一方的に話を聞くだけの受け身にならないよう、自分たちがどのような思いを持ち、原稿を作ったのか相手の方に説明したうえで、アドバイスをもらうように促す。</li> <li>・アドバイスをもとに、どのようにして原稿を改善していくのか全体で確認し、今後の活動を明確にする。</li> <li>・仕上げを行う際には、友だちとそれぞれの思いを語りながら、協力してよりよいものを仕上げていくよう促す。</li> <li>・自信を持って人と関わることができるよう、相手の方をお願いしたりする際には、伝えることや言葉づかいについても事前に準備や練習の時間を確保する。</li> <li>・今までの活動の記録や、自分の感想等を思い返しなが、学習を進める中で成長した自分を実感できるようにする。</li> </ul>	

## 5 本時の学習 (22 / 50 時間)

### (1) 目標

アンケート結果などから観光客の現状を知り、四万十川についてグループでまとめたことをどのように生かしていくのか語り合うことができる。

### (2) 準備物

観光客へのアンケート結果集計表

### (3) 展開

学 習 活 動 【発問(★)】	学習活動への支援 (○) と評価 (◆)
<p>1、四万十川の観光客について気付いたことを、発表する。</p> <p>2、本時のねらいを確認する。</p>	<p>○前時までに見童がまとめたデータをもとに発表させる。</p>
<p>観光客の現状から、四万十川をもっと知ってもらうために「観光ガイドブック」をどうすればいいか考えよう。</p>	
<p>3、四万十川についてもっと知ってもらうために、どのような観光ガイドブックを作るのか</p>	

<p>話し合う。</p> <p>★どんな人を対象にするのか。</p> <p>★自分たちがまとめてきたものの中から、伝える人にあった、取り上げる内容を考えよう。</p> <p>4、本時の振り返りを行う。</p>	<p>○観光客にはどのような人がいるのかを考え、その中から自分たちが情報を発信する対象は誰なのかを話し合わせたい。</p> <p>○状況に応じて教師から新たなデータを提示する。</p> <p>○それぞれのグループでまとめた内容を振り返り、全体で決めた対象となる人物に対して、自分たちのまとめたものをどのように生かしていくのかを話し合わせる。</p> <p>◆自分たちのまとめた情報を発信する方法について考え、思いを持って話し合うことができる。 [④-U]</p> <p>○振り返りカードを活用する。</p> <p>○本時の内容をふまえて、今後の見通しを持たせるようにする。</p>
--	--

## 6 板書計画

